

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：サンライズガーデン青葉台	種別：短期入所	
代表者氏名：大野 孝徳	定員：36人（利用者34名）	
所在地：〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台 3-10		
TEL：045-983-6822	ホームページ： http://www.sunrise-garden.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 令和元年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社サンライズ		
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 33名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	看護師：1名 栄養士：1名	
	調理師：3名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	52室	相談室、事務室、厨房、洗面室、浴室、非常災害設備等

③ 理念・基本方針

【理念】 首都圏の知的・精神障がい者たちに安全でキレイなサンライズガーデンで笑って、楽しく元気に暮らしてもらい明日への自立の糧にしてもらうこと
【基本方針】 ①調和のとれた現場主義の挑戦 ②情報の分析、課題発掘、共有化の確立 ③複眼的な自立支援の継続 ③ スタッフ同志の絆とチームワーク作り ④ 徹底したコストダウンの構築

④ 施設・事業所の特徴的な取組

①利用者の日常生活と社会生活へ向けての自立支援の確立化 ②サンライズシート（5S/カイゼン・問題解決・自立支援/課題創造）の実施運営 ③福祉人材の確保と育成強化 ④福祉サービス全般に関わるデータベース化の構築化 ⑤利用者の安全な生活環境の確立とバランスの取れたコストダウン ⑤ スタッフ本位の働きやすい職場環境の確立とバランスのとれたコストダウン ⑥ 障害福祉サービスの事業所の開設

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年6月1日（契約日） ～ 令和4年9月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	－ 回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)速やかな情報共有や改善策の検討に努めています

朝礼や夕礼、ミニ研修を活用し速やかな情報共有と改善策の検討を行っています。毎日の朝礼、夕礼はそれぞれ30分を見込んでいます。利用者の心身状態の変化や職員同志の引き継ぎは、スマートフォンのチャットシステムで職員に周知の後、言葉の微妙なニュアンスなど口頭で伝わる情報の質を重要視して、朝礼で共有しています。ヒヤリハット事例では、朝礼や研修で想定し得るリスクを拾い出し、要因や改善策を話し合い再発防止に努めています。また、食事・排泄等の自立支援や、洗濯、リネン交換などの日常業務については、経営理念カードを用いて理念に立ち返り、支援や業務を点検する場としています。こうした取組は職員同志の協力関係を築き、職員の安心感にもつながっています。

2)居心地の良さにより、リピート利用が増えています

敷地約580坪、利用者定員36名のところ居室は52部屋のゆとりある施設です。猛暑に備え新たに全室、日除けを設置しました。建物の周囲には井戸水給水設備と畑を巡らせ地域との接点になりつつあります。前庭の人工芝ではアウトドア感覚の外気浴ができます。施設内部も広々として開放的であり、明るい色調の躍動的なシンボルアートやカラフルな家具を配置しています。エントランススペースに集う利用者たちは来訪者に挨拶を欠かさず、自然体でくつろいで過ごしています。ゆったりした施設空間は余裕のある雰囲気の中で、利用者の気持ちの安定につながり、「また行きたい、利用したい」と施設のリピート利用が増えています。

3)支援の「標準化」「見える化」を推進しています

独自のツールである「なるほどカード」には、一人ひとりの自立支援方法と理由を表裏に記載の上、スタッフステーションに掲示し「見える化」しています。誰にどのような支援を行うか、カードを一目見て支援の目的、方法、理由等を理解し共有できるよう工夫しています。写真や動画を用いた「福祉サービス標準化ソフト」については、生活支援、看護、厨房、清掃、事務と事業所の業務全般の「標準化」と「見える化」に取り組んでいます。現場の写真や動画を多用しているので、実際の動作がイメージしやすく、業務の標準化として有効なマニュアルとなっています。新任職員はソフトを視聴し、業務を継続的に学び、実践後は、先輩職員から日々、指導を受けています。スキルの効率的な習得やOJTの負担軽減にもつながる取組となっています。

4)利用者満足度調査と自己評価の組織的・継続的取組が期待されます

日頃から利用者とのコミュニケーションは活発であり、利用者が積極的に事業所への希望、意見、満足度を表出できる環境としています。利用者アンケートは初めての満足度調査ですが、今後、利用者満足度調査の仕組みを作り、定期的に継続した取組を進めることが期待されます。また、組織全体で取組んだ職員自己評価については、全項目を職員一人ひとりが評価すると共に、施設の優れている点、課題について各職員が文章で記載し洗い出しました。これを契機に、自己評価の定期的実施と改善への組織的取組が望まれます。

5)利用者を尊重する姿勢を明示することが期待されます

職員は朝礼や研修の場で、倫理綱領と職員行動指針に基づいて、日頃の利用者支援を振り返っています。利用者の尊厳や基本的人権への配慮については、現在マニュアル等を整備しています。また、プライバシー保護についてのマニュアルや規程も現在整

備している最中です。これら利用者を尊重する姿勢を明示して、利用者や家族への周知と共に内容の定期的評価が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回は第三者評価を初めて受審し、改めて当施設の課題や問題点を全スタッフと共有いたしました。
サンライズガーデン青葉台が掲げる「安全でキレイな施設、笑って楽しく元気に過ごせる施設、
全利用者の自立支援を実現する施設」を今後も全スタッフ一同で目指していきます。
今後ともサンライズガーデン青葉台を宜しくお願い申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり